

滿蒙問題に就て

郷土出身一將校 (寄)

次に今日日滿問題上最重 棉花、木材等がある。

要視せられておるものは、 不足及之が輸入の状況に

煤、石油である。 毎年の輸入は一億八千上

の如しと雖一朝戦時とな 萬圓である滿蒙の鐵は邦

つて太平洋及印度洋の航 人の採掘権を有つておる

海移住を待たせると云ふ ののみでも七億噸(推定)

が杜絶し且シペリヤ鐵道 定埋蔵量二十億噸)で今

時には國民生活上の不足 後五十年間我國の鐵鋼業

及軍需品並に其原料等 を立てることが出来る。

勢ひ之を滿蒙に仰がねば 近時問題となつておる

の出來る土地に選定す 和製鋼所(朝鮮鎮南浦の

手を入れて開發せしむる 豫定)が實現したならば

滿蒙の鐵礦を利用し我國 鐵鋼業の發達を生ずべき

の餘裕を生ずべき豫想で 石炭 我國内に於ける石

炭の量は今後三、四十年と 見られておる。然るに滿

蒙に於ける埋蔵量は三十 億噸、撫順だけでも年産

七百萬噸、千萬噸に達す るも近きにある。

石油 毎年九十萬噸、一億 圓に近い輸入である。滿

蒙には未だ純粹の石油坑 は見せられないが其原

料たるオイルセル(油 母頁岩)は可成りの埋蔵

量を有してゐる。撫順炭 田のみでも五十餘億噸あ

り之より約二億噸の石油 を採取し得べく此量は我

國の年需要額二百萬噸 (目下は百一、三十萬噸) として約百年を支へ得る

に足る。 重油の供給を外國に仰い

ておる我國としては特に 有事の際に於ける極めて

重要な問題である。 以上の外國は年々羊毛、

棉花、及其製品の入超三億 圓建築材料二億圓内外で

拈華微笑 春の海を俯視す 友の悲歌を想ひ

拈けて、少からず俺に加 拈つて、少からず俺に加

拈つて、少からず俺に加 拈つて、少からず俺に加

白馬の雪營業所 芳醇銘酒 倍舊の御引立相仰ぎ度奉懇願候

胃腸陽毒 淋病 皮膚病 婦人病 院醫科性胃腸材松

度量衡 計量器 吸入用酸素 酸素吸入器 關内藥局

別府膏藥 岩里 胃腸陽毒 淋病 皮膚病 婦人病

貨切御用命 三九二タクシー 川井内科診療所 大谷時計病院

